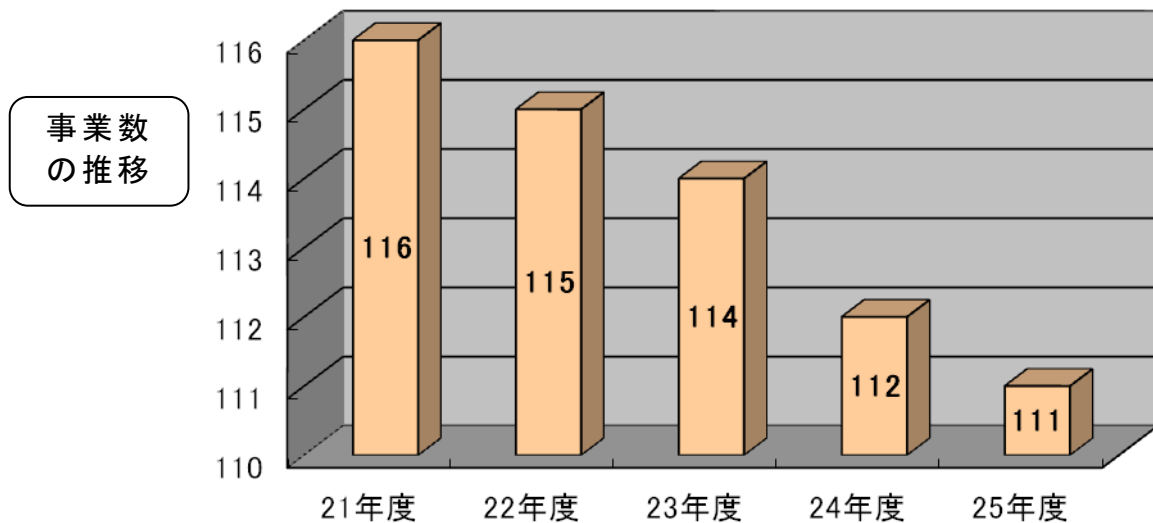


## 平成25年度市町等公営企業決算の概要

### 事業数

平成25年度末現在、111事業(対前年度比1事業、0.9%の減少)

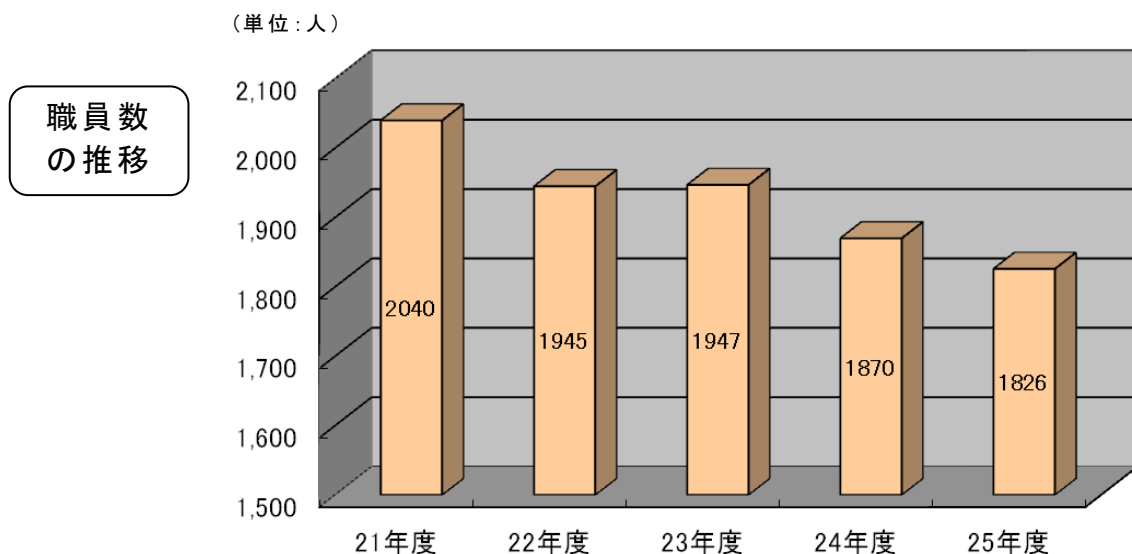
公営企業の整理・統廃合により、平成21年度以降年々事業数は減少している。平成21年度の事業数と比較して5事業、4.5%の減少となっている。



### 職員数

平成25年度末現在、1,826人(対前年度比44人、2.4%の減少)

平成21年度の職員数と比較して214人、11.4%の減少となっている。



## 決算規模

928億5,164万円(対前年度比14億2,146万円、1.5%の減少)

平成21年度の決算規模と比較して139億7,201万円、13.1%の減少となっている。  
資本的支出の減や総費用の減により、平成21年度に比べ規模を縮小している。

## 経営の状況

経常収支58億82万円の黒字  
(対前年度比14億9,035万円の増加、34.5%の増加)

黒字事業(経常収支が0の事業含)は94事業で全体の84.7%となっている。  
(対前年度比6事業の減少、6%の減少)

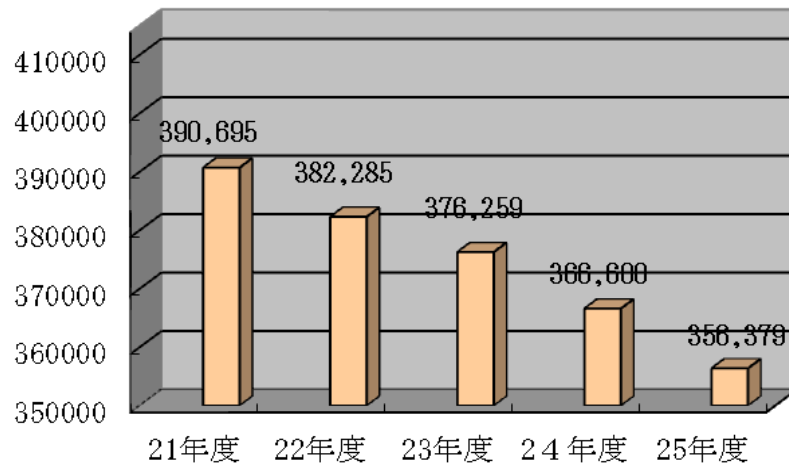
## 企業債現在高

3,563億7,913万円(対前年度比102億2,085万円、2.8%の減少)

平成21年度の残高と比較して、343億1,566万円、8.8%減少している。

(単位:百万円)

企業債  
残高の推移



(注)各項目の数値は、表示単位未満を四捨五入したものである。したがって、その内訳を合計した数値は、合計欄の数値と一致しない場合がある。

(1)事業数

平成25年度末における本州市町等の地方公営企業の数 は111事業で、前年度末の112事業に比べ1事業減少している。

事業別にみると、下水道事業(公共下水道事業、特定環境保全公共下水道事業、特定公共下水道事業、農業集落排水事業、漁業集落排水事業、林業集落排水事業、小規模集合排水処理事業、特定地域生活排水処理事業および個別排水処理事業)が56事業で最も多く、全体の50.5%を占めている。次いで水道事業(上水道および簡易水道)が28事業(全体の25.2%)となっている。

事業別内訳

区分	事業名	経営主体別区分			計	対前年度 増減数
		市	町	一組・ 財産区		
法適用企業	上水道事業	9	6	1	16	
	工業用水道事業	2	1		3	
	ガス事業	1			1	
	下水道事業	6		1	7	
	病院事業	2	2	2	6	
	観光施設事業		2		2	
	CATV			1	1	
	計	20	11	5	36	0
法非適用企業	簡易水道事業	6	6		12	
	下水道事業	23	26		49	
	港湾整備事業	1			1	
	市場事業	1			1	
	宅地造成事業	4	2		6	△1
	駐車場整備事業	2			2	
	介護サービス事業	1	3		4	
	計	38	37	0	75	△1
合計	58	48	5	111	△1	

## (2) 職員数

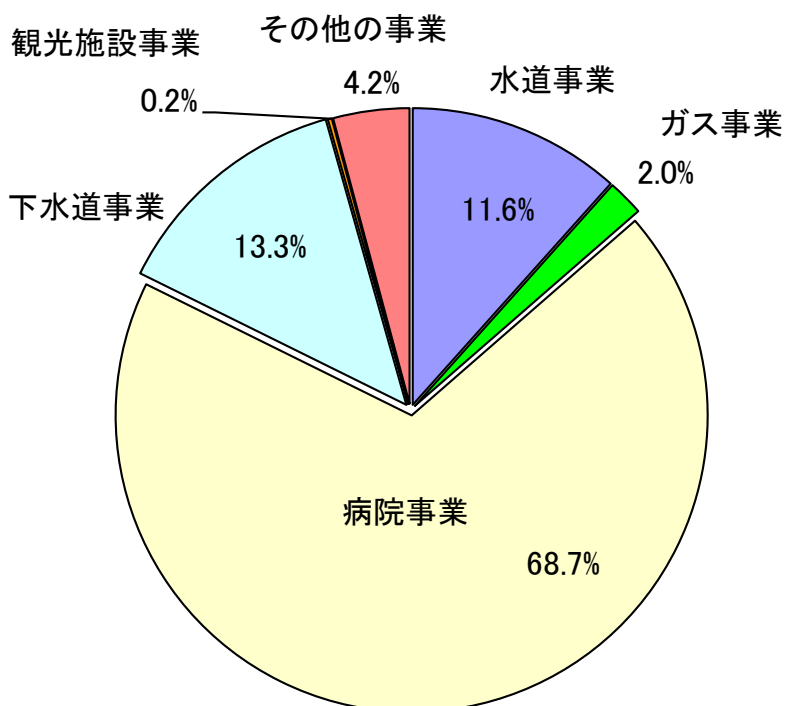
平成25年度末において地方公営企業に従事する職員数は1,826人で、前年度末の1,870人に比べ、44人(2.4%)減少している。

職員数を事業別にみると、病院事業が1,255人(全体の68.7%)と最も多く、下水道事業の243人(同13.3%)、水道事業(上水道および簡易水道)の212人(11.6%)がこれに次いでおり、これら3事業で全体の93.6%を占めている。

### 職員数

(単位:人)

事業名	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	対前年度増減
水道事業	249	238	238	220	212	△ 8
ガス事業	42	41	44	44	36	△ 8
病院事業	1,305	1,306	1,328	1,264	1,255	△ 9
下水道事業	283	272	266	258	243	△ 15
観光施設事業	16	4	4	4	4	0
その他の事業	154	89	84	80	76	△ 4
合計	2,040	1,945	1,947	1,870	1,826	△ 44



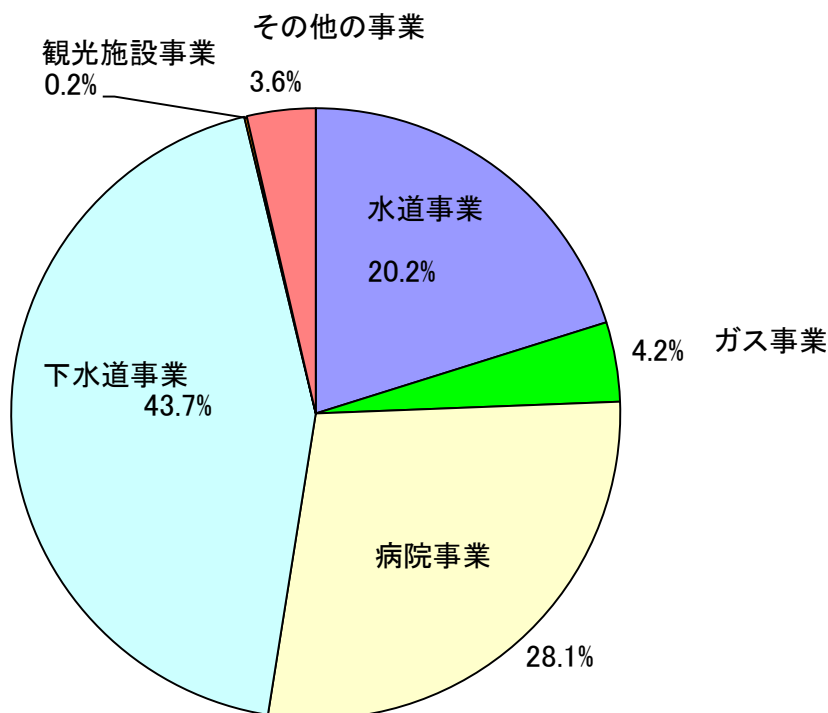
### (3) 決算規模

平成25年度末の決算規模は、928億5,164万円で、前年度の942億7,310万円に比べ、14億2,146万円(1.5%)減少している。

決算規模の大きな事業をみると、下水道事業が406億303万円(全体の43.7%)と最も大きく、次いで病院事業が261億1,096万円(同28.1%)、水道事業(上水道および簡易水道)が187億1,724万円(同20.2%)、ガス事業が39億2,352万円(同4.2%)となっている。

(注) 決算規模 法適用企業 : 総費用－減価償却費＋資本的支出  
 法非適用企業 : 総費用＋資本的支出＋積立金＋繰上充用金

決算規模		(単位:千円、%)				
事業名	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	25-24増減
水道事業	20,378,372	19,023,839	17,687,965	18,597,059	18,717,244	0.6
ガス事業	3,496,850	4,370,441	4,406,825	4,225,440	3,923,519	△ 7.1
病院事業	23,418,023	24,135,147	29,833,891	26,321,021	26,110,963	△ 0.8
下水道事業	54,079,971	44,492,815	43,188,872	41,210,346	40,603,030	△ 1.5
観光施設事業	230,797	118,177	119,112	122,863	126,363	2.8
その他の事業	5,219,640	4,544,028	4,991,052	3,796,370	3,370,521	△ 11.2
計	106,823,653	96,684,447	100,227,717	94,273,099	92,851,640	△ 1.5



#### (4) 経営の状況

企業の収益的収支の状況を示す指標としての経常収益対経常費用(法非適用企業は、総収益対総費用の比率)は109.6%(2.5ポイント増加)となっている。経常収益に占める他会計繰入金を除いた場合、87.1%(2.5ポイントの増加)となっている。

また、平成25年度単年度の収益的収支で赤字を生じた企業は、法適用企業では11(上水道事業3、病院事業5、下水道事業2、観光施設事業1)となっており、法非適用企業では6(簡易水道事業2、下水道事業3、介護事業1)となっている。

なお、平成25年度末で累積欠損金(法非適用企業は実質収支赤字)を有する企業は、法適用企業では11(上水道事業2、ガス事業1、病院事業5、下水道事業2、観光施設事業1)、法非適用企業では1(宅地造成事業1)となっている。

#### 経営状況

(単位:千円、%)

	年度	経常収益	経常費用	経常収支比率	他会計繰入金	{(A)-(C)} / (B)
		(A)	(B)	(A/B) %	(C)	%
水道事業	24年度	14,561,165	13,613,813	107.0	1,487,385	96.0
	25年度	14,547,185	13,783,462	105.5	1,454,101	95.0
ガス事業	24年度	3,637,760	3,523,896	103.2	5,834	103.1
	25年度	3,532,126	3,290,829	107.3	3,921	107.2
病院事業	24年度	22,892,034	24,218,968	94.5	2,169,120	85.6
	25年度	22,752,463	24,060,984	94.6	2,295,957	85.0
下水道事業	24年度	21,112,207	18,043,214	117.0	9,440,113	64.7
	25年度	20,990,234	17,704,033	118.6	9,281,643	66.1
観光施設事業	24年度	89,887	98,248	91.5	3,240	88.2
	25年度	99,414	111,187	89.4	720	88.8
その他の事業	24年度	2,857,159	1,341,605	213.0	787,820	154.2
	25年度	4,187,458	1,357,566	308.5	535,504	269.0
計	24年度	65,150,212	60,839,744	107.1	13,893,512	84.2
	25年度	66,108,880	60,308,061	109.6	13,571,846	87.1

#### (5) 企業債残高の状況

平成25年度末の企業債残高は、3,563億7,913万円で前年度の3,665億9,998万円に比べ、102億2,085万円(2.8%)減少している。また、企業債残高を事業別に見ると下水道事業が2,620億6,527万円(全体の73.5%)と最も多く、次いで水道事業(上水道および簡易水道)が540億8,905万円(同15.2%)、病院事業が253億8,973万円(同7.1%)となっている。

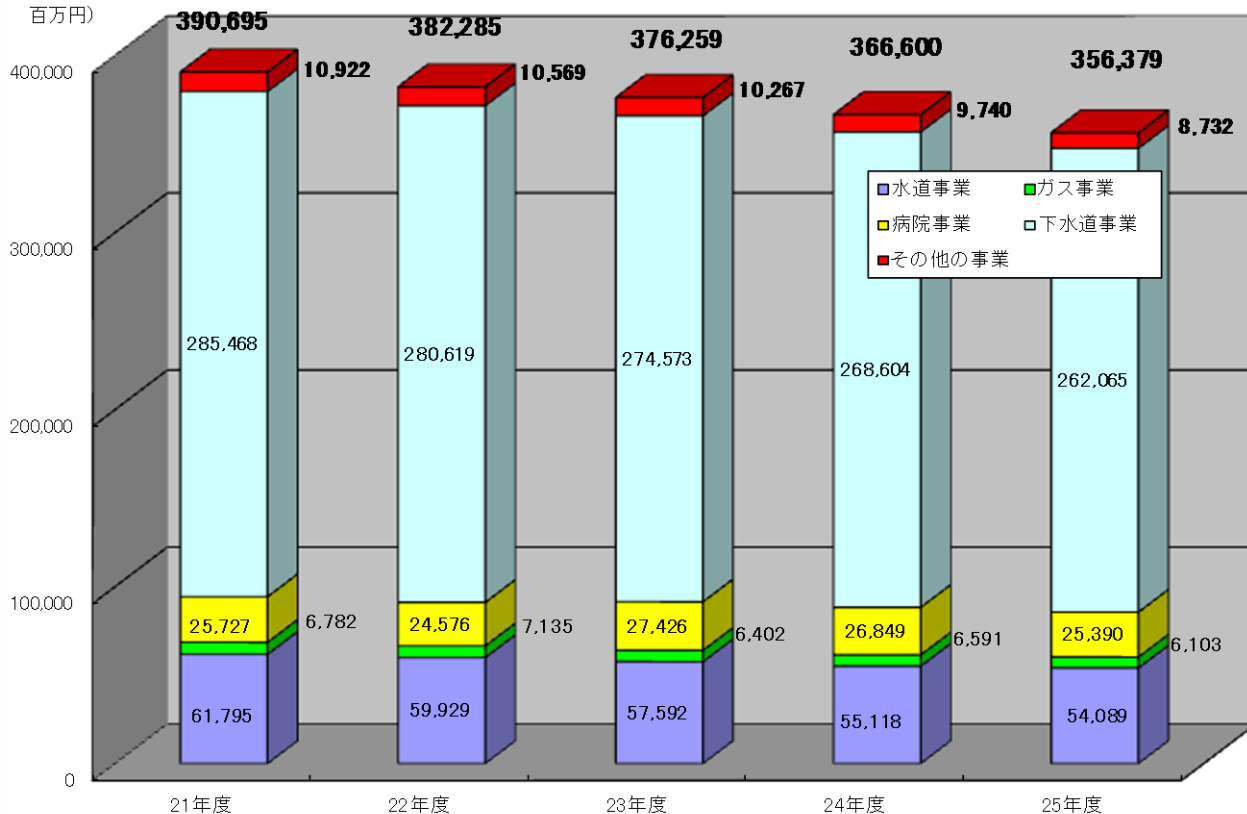
#### 企業債残高

(単位:千円、%)

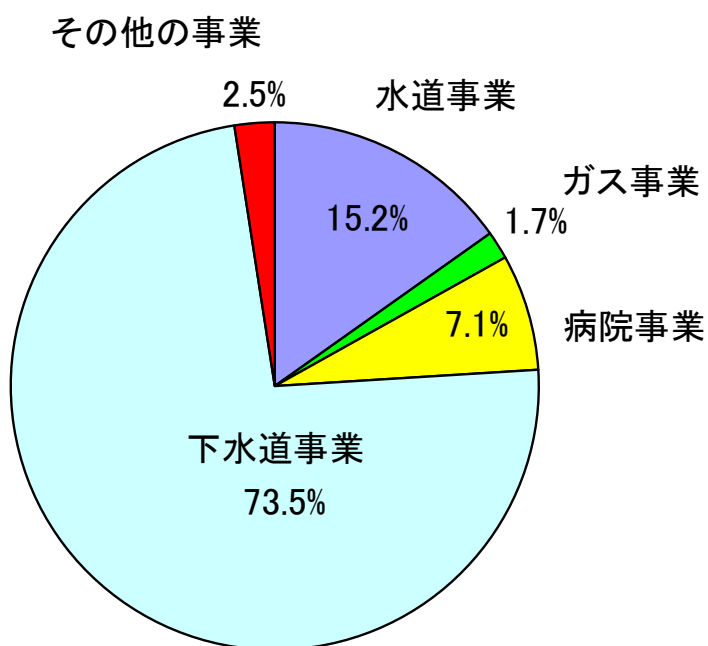
	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	24-25増減
水道事業	61,795,312	59,929,467	57,591,574	55,118,457	54,089,048	△ 1.9
ガス事業	6,782,261	6,591,119	6,401,775	6,288,910	6,102,993	△ 3.0
病院事業	25,727,245	24,576,264	27,426,331	26,848,668	25,389,727	△ 5.4
下水道事業	285,467,952	280,618,661	274,572,604	268,603,949	262,065,270	△ 2.4
その他の事業	10,922,015	10,569,318	10,266,898	9,739,996	8,732,089	△ 10.3
計	390,694,785	382,284,829	376,259,182	366,599,980	356,379,127	△ 2.8

### 企業債残高の推移

(単位:  
百万円)



### 企業債残高の 企業毎の割合



## 事業別経営の状況

### (1) 水道事業(上水道事業および簡易水道事業)

事業数は上水道事業および簡易水道事業をあわせて28事業(上水道16事業、簡易水道12事業)あり、前年度からの増減はない。平成25年度末現在の給水人口は771,848人と前年度(776,363人)より、4,515人減少し、水道の普及率(計画給水人口に対する現在給水人口の割合)は、上水道事業が95.0%(前年度95.4%)、簡易水道事業が71.6%(前年度72.7%)となっている。

年間総有収水量は、95,611千 $m^3$ と前年度(97,367千 $m^3$ )に比べ1,756千 $m^3$ 減少、1日1人平均給水量は339リットルと前年度(344リットル)に比べ5リットル減少、有収率(総有収水量対総配水量)は、90.0%で前年度に比べ0.5ポイント下回った。

水道事業における法適用企業は上水道事業の16事業であり、その収益的収支をみると経常収益は134億6,792万円(対前年度比3,776万円、0.3%の減)、経常費用は128億7,598万円(同1億2,384万円、1.0%の増)で、差引5億9,194万円(同1億6,160万円、21.5%の減)の黒字となっている。経常収支比率は104.6%と前年度(105.9%)を1.2ポイント下回っている。経常利益を生じた事業は13事業(前年度15事業)で、その額は8億3,449万円(前年度8億9,668万円)となっている。

また、累積欠損金を有する事業は2事業(前年度4事業)であり、その額は26,129万円(前年度1億8,738万円)となっている。

なお、給水量1 $m^3$ 当たりの給水原価は143.0円で、前年度(139.0円)に比べ4.0円高くなっている。また、給水量1 $m^3$ 当たりの供給単価は、129.5円で前年度(127.7円)に比べ1.8円高くなっており、給水原価を13.5円(前年度11.3円)下回っている。

資本的収支では、資本的収入は29億9,264万円、そのうち72.1%にあたる21億5,790万円が企業債であり、資本的支出は76億3,320万円となっている。

水道事業における法非適用企業は簡易水道事業の12事業であり、その収益的収支と資本的収支を通じた実質収支は全体で5,784万円(対前年度比1,317万円の減)の黒字となっている。

### 事業概要

区 分	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	20-21増減	21-22増減	22-23増減	23-24増減	24-25増減
年度末給水人口	人	785,772	783,488	780,311	776,363	771,848	△ 0.4	△ 0.3	△ 0.4	△ 0.5	△ 0.6
年間総配水量(A)	千 $m^3$	110,294	111,241	109,805	107,567	106,225	△ 1.5	0.9	△ 1.3	△ 2.0	△ 1.2
年間総有収水量(B)	千 $m^3$	99,306	100,168	98,976	97,367	95,611	△ 2.0	0.9	△ 1.2	△ 1.6	△ 1.8
1人1日平均給水量	リットル/人	346	350	347	344	339	△ 1.7	1.2	△ 0.9	△ 0.9	△ 1.5
有収率(B)／(A)	%	90.0	90.0	90.1	90.5	90.0	△ 0.6	0.0	0.1	0.4	△ 0.6



経営状況(上水道事業)

区 分	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	16-17増減	19-20増減	20-21増減	21-22増減	22-23増減	23-24増減	24-25増減
経常収益(A)	百万円	13,187	13,036	13,019	13,074	13,506	13,468	△ 1.7	3.8	△ 1.1	△ 0.1	0.4	3.3	△ 0.3
経常費用(B)	百万円	12,703	12,604	12,471	12,337	12,752	12,876	2.6	1.2	△ 0.8	△ 1.1	△ 1.1	3.4	1.0
経常収支比率(A/B)	%	103.8	103.4	104.4	106.0	105.9	104.6		2.7	△ 0.4	0.9	1.5	△ 0.1	△ 1.2
累積欠損金	百万円	313	348	224	175	187	261	261.7	△ 32.4	478.8	△ 32.4	△ 21.9	6.9	39.6
供給単価	円	121.3	123.1	124.1	126.1	127.7	129.5	0.7	5.6	1.5	0.8	1.6	1.3	1.4
給水原価	円	135.0	137.0	135.2	134.9	139.0	143.0	4.9	2.6	1.5	△ 1.3	△ 0.2	3.0	2.9
資本的収入	百万円	5,906	3,900	2,901	2,568	3,338	2,993	91.7	△ 6.2	△ 34.0	△ 25.6	△ 11.5	29.9	△ 10.3
資本的支出	百万円	10,925	8,910	7,805	6,767	7,675	7,633	33.6	△ 0.7	△ 18.4	△ 12.4	△ 13.3	13.4	△ 0.6

経営状況(簡易水道事業)

区 分	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	16-17増減	19-20増減	20-21増減	21-22増減	22-23増減	23-24増減	24-25増減
総収益(A)	百万円	1,378	1,337	1,350	1,319	1,055	1,079	△ 5.2	△ 7.6	△ 3.0	1.0	△ 2.3	△ 19.9	2.2
総費用(B)	百万円	1,078	1,028	1,049	1,028	862	907	△ 7.6	△ 11.5	△ 4.6	2.0	△ 2.0	△ 16.2	5.3
収益の収支差引(A-B)	百万円	300	309	301	291	194	172	7.5	9.9	3.0	△ 2.6	△ 3.4	△ 33.4	△ 11.3
資本的収入(C)	百万円	2,221	1,621	1,558	1,504	1,507	1,524	△ 39.1	0.0	△ 27.0	△ 3.9	△ 3.5	0.2	1.1
資本的支出(D)	百万円	2,475	1,889	1,801	1,780	1,677	1,677	△ 35.9	△ 0.6	△ 23.7	△ 4.7	△ 1.1	△ 5.8	△ 0.0
資本的収支差引(C-D)	百万円	△ 254	△ 268	△ 243	△ 277	△ 170	△ 153	4.6	△ 10.6	△ 8.0	5.9	13.8	△ 38.4	△ 10.2
実質収支	百万円	72	76	103	68	71	58	△ 1.6	18.0	5.6	35.5	△ 34.0	4.4	△ 18.3

※実質収支は、収益的収支差引と資本的収支差引に前年度からの繰越金等を加えたもの

(2)工業用水道事業

工業用水道事業は3団体(あわら市、越前市、若狭町)が経営しており、給水先事業所数は17箇所となっている。

年間総配水量は1,889千 $m^3$ (対前年度比36千 $m^3$ 、1.9%の増)、1日平均配水量は5,175 $m^3$ (前年度5,077 $m^3$ )となっている。

経常収益は8,276万円(対前年度比130万円、1.6%の減)、経常費用は76,97万円(同253万円、3.4%の増)となっており、差引579万円の黒字となっている。

経常収支比率は107.5%と前年度(112.9%)から5.4ポイント下回った。

また、資本的収入は3,084万円、資本的支出は3,730万円となっている。

(3)ガス事業

ガス事業は1団体(福井市)が経営しており、平成25年度末現在の供給戸数は25,539戸(対前年度比1,206戸、4.5%の減)となっている。

ガスの供給量は、926,905千MJで前年度(1,019,108千MJ)に比べ92,203千MJ(9.0%)減少している。

経常収益は35億3,213万円(対前年度比1億563万円、2.9%の減)、経常費用は32億9,083万円(同2億3,307万円、6.6%の減)で、差引2億4,130万円の黒字となっている。

経常収支比率は107.3%と前年度(103.2%)を4.1ポイント上回り、累積欠損金は13億8,024万円(対前年度比15億2,130万円、52.4%の減)となった。

また、資本的収入は4億46万円、資本的支出は11億3,921万円となっている。

## 事業概要

区 分	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	21-22増減	22-23増減	23-24増減	24-25増減
年度末供給戸数	戸	28,701	28,137	27,343	26,745	25,539	△ 2.0	△ 2.8	△ 2.2	△ 4.5
ガス生産量(A)	千MJ	1,075,885	1,129,164	1,115,482	1,019,673	922,629	5.0	△ 1.2	△ 8.6	△ 9.5
ガス供給量(B)	千MJ	1,061,405	1,110,160	1,097,083	1,019,108	926,905	4.6	△ 1.2	△ 7.1	△ 9.0
有収率(B)／(A)	%	98.7	98.3	98.4	99.9	100.5	△ 0.4	0.1	1.5	0.6

## 経営状況

区 分	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	21-22増減	22-23増減	23-24増減	24-25増減
経常収益(A)	百万円	3,138	3,940	3,882	3,638	3,532	25.6	△ 1.5	△ 6.3	△ 2.9
経常費用(B)	百万円	3,128	3,953	3,874	3,524	3,291	26.4	△ 2.0	△ 9.0	△ 6.6
経常収支比率(A/B)	%	100.3	99.7	100.2	103.2	107.3	△ 0.6	0.5	3.0	4.1
累積欠損金	百万円	3,010	3,023	3,015	2,902	1,380	0.4	△ 0.3	△ 3.7	△ 52.4
資本的収入	百万円	301	380	345	439	400	26.2	△ 9.3	27.5	△ 8.9
資本的支出	百万円	1,127	1,164	1,262	1,322	1,139	3.3	8.4	4.8	△ 13.9

## (4) 病院事業

病院事業は6団体(敦賀市:市立敦賀病院、坂井市:市立三国病院、越前町:国民健康保険織田病院、若狭町:国民健康保険上中病院、公立小浜病院組合:公立小浜病院・レイクヒルズ美方病院、公立丹南病院組合:公立丹南病院)が経営しており、病床数は1,302床を有している。

平成25年度の利用患者数は年延入院患者数で370,827人(対前年度比10,072人、2.6%の減)、年延外来患者数で697,663人(対前年度比4,773人、0.6%の減)となっている。

経常収益は227億5,246万円(対前年度比1億3,957万円、0.6%の減)、経常費用は240億6,098万円(同1億5,798万円、0.7%の減)で、差引13億852万円の赤字となっている。経常収支比率は、94.6%で前年度(94.5%)を0.1ポイント上回っている。

資本的収支についてみると、資本的収入は22億7,428万円、そのうち23.2%にあたる5億2,730万円が企業債であり、資本的支出は36億6,770万円となっている。

## 事業概要

区 分	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	21-22増減	22-23増減	23-24増減	24-25増減
病床数	床	1,322	1,322	1,322	1,302	1,302	0.0	0.0	△ 1.5	0.0
年延入院患者数(A)	千人	357	374	374	381	371	4.8	0.1	1.7	△ 2.6
年延外来患者数(B)	千人	717	711	699	702	698	△ 0.8	△ 1.7	0.5	△ 0.6
年延患者数(A+B)	千人	1,074	1,085	1,073	1,083	1,069	1.0	△ 1.1	0.9	△ 1.3
1日平均入院患者数(C)	人	979	1,023	1,026	1,044	1,016	4.5	0.3	1.8	△ 2.7
1日平均外来患者数(D)	人	2,730	2,696	2,652	2,658	2,655	△ 1.2	△ 1.6	0.2	△ 0.1
1日平均患者数(C+D)	人	3,709	3,719	3,678	3,702	3,671	0.3	△ 1.1	0.7	△ 0.8
病床利用率	%	74.1	77.4	77.6	80.2	78.0	3.3	0.2	3.4	△ 2.7

経営状況

区 分	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	21-22増減	22-23増減	23-24増減	24-25増減
経常収益(A)	百万円	22,190	22,586	23,135	22,892	22,752	1.8	2.4	△ 1.1	△ 0.6
経常費用(B)	百万円	22,978	23,214	23,537	24,219	24,061	1.0	1.4	2.9	△ 0.7
経常収支比率(A/B)	%	96.6	97.3	98.3	94.5	94.6	0.7	1.0	△ 3.8	0.0
累積欠損金	百万円	6,901	7,574	8,123	8,967	10,882	9.8	7.2	10.4	21.4
資本的収入	百万円	1,386	1,847	6,722	1,874	2,274	33.3	263.9	△ 72.1	21.3
資本的支出	百万円	2,121	2,423	7,649	3,672	3,668	14.2	215.7	△ 52.0	△ 0.1

(5) 下水道事業

下水道事業の数は56事業(法適用7事業、法非適用49事業)であり、前年度からの増減はない。

内訳を事業別にみると、公共下水道事業が14事業(うち法適用4事業)、特定環境保全公共下水道事業が8事業(うち法適用1事業)、特定公共下水道事業が1事業、農業集落排水事業が17事業(うち法適用2事業)、漁業集落排水事業が7事業、林業集落排水事業が2事業、小規模集合排水処理事業が3事業、特定地域生活排水処理事業が2事業および個別排水処理事業が2事業となっている。

処理区域内人口は707,602人(前年度703,137人)であり、年間総処理水量は、128,463千 $m^3$ (同123,799千 $m^3$ )である。

法適用企業の経営状況をみると、経常収益は103億9,345万円(対前年度比2億8,703万円、2.7%の減)、経常費用は99億5,872万円(同2億433万円、2.0%の減)であり、差引4億3,473万円の黒字となっている。これに特別損益を加えた純利益が4億1,287万円であり、黒字となっている。また、資本的収入は81億3,937万円(同6億608万円、6.9%の減)、資本的支出は123億5,681万円(同5億6,380万円、4.4%の減)であり、差引42億1,744万円の赤字となっている。

法非適用企業をみると、総収益は105億9,679万円(同1億6,505万円、1.6%の増)、総費用77億4,532万円(同1億3,485万円、1.7%の減)であり、差引28億5,147万円(同2億9,990万円、11.8%の増)の黒字となっている。また、資本的収入は115億2,176万円(同2億2,332万円、2.0%の増)、資本的支出は145億7,977万円(同4億748万円、2.9%の増)であり、差引30億5,801万円の赤字となっている。収益的収支、資本的収支および繰越金等を通じた実質収支は1億7,131万円(同3,314万円、24.0%の増)の黒字となっている。

このように下水道事業全体の収支は黒字となっているが、これは一般会計等から多額の繰入が行われていることによる。下水道事業に対する一般会計からの繰入金(法適用企業、法非適用企業の合計)は、総収益(209億9,024万円)のうち44.2%にあたる92億8,164万円、資本的収入(196億6,113万円)のうち28.9%にあたる56億9,018万円、合計で149億7,182万円(対前年度比5,777万円、0.4%の増)にのぼっている。

この一般会計からの負担は各団体の財政を圧迫してきており、計画的な事業遂行、使用料の適正化、水洗化率の向上など経営の改善を図っていく必要がある。下水道事業は他の事業に比べ資本整備が長期間にわたり、その間の建設投資も莫大であることから、事業実施団体の発行する起債も多額のものとなっている。現在は、整備が完了している団体もあるため、建設改良費は減少傾向にあるが、今後は施設の老朽化対策や維持管理対策が求められる。

平成25年度末での企業債残高(法適用企業、法非適用企業の合計)は全体で2,620億6,527万円(対前年度66億5,387万円、2.4%の減)となっている。

#### 事業概要

区 分	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	20-21増減	21-22増減	22-23増減	23-24増減	24-25増減
処理区域内人口	人	678,780	692,165	699,439	703,137	707,602	2.4	2.0	1.1	0.5	0.6
処理区域内面積	ヘクタール	21,912	21,676	21,996	22,206	22,511	6.1	△ 1.1	1.5	1.0	1.4
年間総処理水量	千m <sup>3</sup>	122,717	132,413	128,272	123,799	128,463	3.7	7.9	△ 3.1	△ 3.5	3.8
年間総有収水量	千m <sup>3</sup>	80,244	82,104	82,467	82,659	81,764	0.0	2.3	0.4	0.2	△ 1.1

#### 経営状況(法適用企業)

区 分	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	20-21増減	21-22増減	22-23増減	23-24増減	24-25増減
経常収益(A)	百万円	11,119	11,096	10,756	10,680	10,393	△ 1.3	△ 0.2	△ 3.1	△ 0.7	△ 2.7
経常費用(B)	百万円	10,613	10,303	10,174	10,163	9,959	△ 3.7	△ 2.9	△ 1.3	△ 0.1	△ 2.0
経常収支比率(A/B)	%	104.8	107.7	105.7	105.1	104.4	2.5	2.9	△ 2.0	△ 0.6	△ 0.7
資本費単価	円	290.5	181.7	184.2	178.0	180.5	88.3	△ 37.5	1.4	△ 3.4	1.4
使用料単価	円	130.0	130.1	130.7	130.4	130.2	0.0	0.1	0.5	△ 0.2	△ 0.2
処理原価	円	379.0	265.4	267.7	260.1	260.9	53.6	△ 30.0	0.9	△ 2.8	0.3
資本的収入	百万円	14,425	8,089	8,855	8,745	8,139	△ 13.8	△ 43.9	9.5	△ 1.2	△ 6.9
資本的支出	百万円	18,987	12,693	13,468	12,921	12,357	△ 9.1	△ 33.1	6.1	△ 4.1	△ 4.4

#### 経営状況(法非適用企業)

区 分	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	20-21増減	21-22増減	22-23増減	23-24増減	24-25増減
総収益(A)	百万円	10,131	10,301	10,408	10,432	10,597	△ 2.8	1.7	1.0	0.2	1.6
総費用(B)	百万円	8,205	8,162	8,038	7,880	7,745	△ 3.5	△ 0.5	△ 1.5	△ 2.0	△ 1.7
収益的収支差引(A-B)	百万円	1,926	2,139	2,370	2,552	2,852	0.2	11.1	10.8	7.7	11.8
資本的収入(C)	百万円	17,909	14,732	12,766	11,298	11,522	△ 24.3	△ 17.7	△ 13.3	△ 11.5	2.0
資本的支出(D)	百万円	20,029	17,203	15,396	14,172	14,580	△ 22.5	△ 14.1	△ 10.5	△ 8.0	2.9
資本的収支差引(C-D)	百万円	△ 2,120	△ 2,471	△ 2,631	△ 2,874	△ 3,058	2.8	△ 16.6	△ 6.5	△ 9.2	△ 6.4
実質収支	百万円	234	205	217	138	171	18.2	△ 12.4	5.9	△ 36.4	23.9

※実質収支は、収益的収支差引と資本的収支差引に前年度からの繰越金等を加えたもの

#### (6) 港湾整備事業

敦賀市のみが実施している。収益的収支と資本的収支を通じた実質収支は255万円(対前年度比303万円、54.3%の減)の黒字となっている。

#### (7) 市場事業

福井市のみが実施している。収益的収支と資本的収支を通じた実質収支は40万円(対前年度比153万円、61.2%の増)の黒字となっている。

## (8) 観光施設事業

観光施設は、休養宿泊施設を越前町、高浜町の2団体が実施している。

平成25年度の年間延宿泊者数は9,491人で前年度(7,686人)に比べ1,805人(23.5%)増加している。

経常収益は9,941万円(対前年度比953万円、10.6%の減)、経常費用は1億1,119万円(同1,294万円、13.2%の減)で、差引1,178万円の赤字であり、経常収支比率は89.2%で前年度(91.5%)を2.3ポイント下回っている。

また、1事業において5,667万円の累積欠損金を生じている。

### 事業概要

区 分	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	21-22増減	22-23増減	23-24増減	24-25増減
年延宿泊者数(A)	人	17,560	9,801	9,437	7,686	9,491	△ 44.2	△ 3.7	△ 18.6	23.5
年延休憩利用者数(B)	人	10,469	5,089	4,616	4,948	5,382	△ 51.4	△ 9.3	7.2	8.8
年延利用者数(A+B)	人	28,029	14,890	14,053	12,634	14,873	△ 46.9	△ 5.6	△ 10.1	17.7
1日平均宿泊者数(C)	人	48	27	26	21	26	△ 43.8	△ 3.7	△ 19.2	23.8
1日平均休憩利用者数(D)	人	29	14	13	14	15	△ 51.7	△ 7.1	7.7	7.1
1日平均利用者数(C+D)	人	77	41	39	35	41	△ 46.8	△ 4.9	△ 10.3	17.1
年間延利用者数(その他観光施設)	人	0	0	0	0	0	—	—	—	—

### 経営状況(法適用企業)

区 分	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	21-22増減	22-23増減	23-24増減	24-25増減
経常収益(A)	百万円	214	108	105	90	99	△ 49.5	△ 3.1	△ 14.1	10.1
経常費用(B)	百万円	237	109	108	98	111	△ 54.0	△ 0.7	△ 9.2	13.0
経常収支比率(A/B)	%	90.3	99.1	96.7	91.5	89.2	8.8	△ 2.4	△ 5.2	△ 2.3
累積欠損金	百万円	136	33	37	45	57	△ 75.7	12.1	21.6	26.7
資本的収入	百万円	0	14	14	15	15	皆増	0.0	7.1	0.0
資本的支出	百万円	14	14	14	28	19	0.0	3.2	91.8	△ 31.4

### 経営状況(法非適用企業)

区 分	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	21-22増減	22-23増減	23-24増減	24-25増減
総収益(A)	百万円	—	—	—	—	—	—	—	—	—
総費用(B)	百万円	—	—	—	—	—	—	—	—	—
収益的収支差引(A-B)	百万円	—	—	—	—	—	—	—	—	—
資本的収入(C)	百万円	—	—	—	—	—	—	—	—	—
資本的支出(D)	百万円	—	—	—	—	—	—	—	—	—
資本的収支差引(C-D)	百万円	—	—	—	—	—	—	—	—	—
実質収支	百万円	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※実質収支は、収益的収支差引と資本的収支差引に前年度からの繰越金を加えたもの

※法非適用の観光施設事業については、21年度以降、対象事業なし

### (9) 宅地造成事業

宅地造成事業は福井市、敦賀市、鯖江市、あわら市、越前町および若狭町の6団体が実施しており、全体でみた実質収支は24億8,552万円の黒字(対前年度比18億1,453万円、204.1%の増)となっている。

#### 経営状況

区 分	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	21-22増減	22-23増減	23-24増減	24-25増減
総収益(A)	百万円	1,320	1,389	2,393	1,199	2,541	5.2	72.3	△ 49.9	111.8
総費用(B)	百万円	690	230	283	129	158	△ 66.7	22.9	△ 54.5	22.8
収益的収支差引(A-B)	百万円	630	1,159	2,110	1,071	2,383	84.0	82.0	△ 49.2	122.5
資本的収入(C)	百万円	1,499	596	245	247	596	△ 60.2	△ 58.9	0.7	141.5
資本的支出(D)	百万円	1,820	1,570	2,175	1,304	1,184	△ 13.7	38.5	△ 40.1	△ 9.2
資本的収支差引(C-D)	百万円	△ 321	△ 974	△ 1,930	△ 1,057	△ 588	△ 203.4	△ 98.2	45.2	44.4
実質収支	百万円	33	186	633	671	2,486	463.6	240.3	6.0	270.5

※実質収支は、収益的収支差引と資本的収支差引に前年度からの繰越金等を加えたもの

### (10) 駐車場整備事業

駐車場整備事業は福井市、鯖江市の2団体が実施しており、収益的収支と資本的収支を通じた実質収支は33万円(対前年度比14万円、75.0%の増)の黒字となっている。

#### 経営状況

区 分	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	21-22増減	22-23増減	23-24増減	24-25増減
総収益(A)	百万円	551	565	543	483	440	2.5	△ 3.8	△ 11.2	△ 8.8
総費用(B)	百万円	169	164	150	128	121	△ 3.0	△ 8.7	△ 14.7	△ 5.3
収益的収支差引(A-B)	百万円	382	401	394	355	319	5.0	△ 1.8	△ 9.8	△ 10.1
資本的収入(C)	百万円	0	34	0	32	28	皆増	皆減	皆増	△ 11.1
資本的支出(D)	百万円	366	480	392	386	346	31.1	△ 18.3	△ 1.5	△ 10.4
資本的収支差引(C-D)	百万円	△ 366	△ 446	△ 392	△ 355	△ 318	△ 21.9	12.1	9.5	10.4
実質収支	百万円	59	10	0.13	0.19	0.33	△ 83.1	△ 98.7	46.2	73.7

※実質収支は、収益的収支差引と資本的収支差引に前年度からの繰越金等を加えたもの

※実質収支は23年度以降100万円未満(23年度13万円、24年度19万円、25年度33万円)

### (11) 介護サービス事業

介護サービス事業は、平成12年4月の介護保険法施行に伴って実施されている事業であり、あわら市、池田町、南越前町および越前町の4団体が実施している。収益的収支と資本的収支を通じた実質収支は、87万円(対前年度比25万円、22.5%の減)の黒字となっている。

#### 経営状況

区 分	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	21-22増減	22-23増減	23-24増減	24-25増減
総収益(A)	百万円	439	210	221	167	168	△ 52.2	5.3	△ 24.5	0.7
総費用(B)	百万円	385	196	221	167	169	△ 49.1	12.6	△ 24.2	1.0
収益的収支差引(A-B)	百万円	54	14	0	△ 0	△ 1	△ 74.1	△ 96.6	△ 195.3	△ 122.7
資本的収入(C)	百万円	30	16	37	29	56	△ 46.7	128.9	△ 20.0	91.1
資本的支出(D)	百万円	34	24	48	29	56	△ 29.4	100.6	△ 39.1	91.1
資本的収支差引(C-D)	百万円	△ 4	△ 8	△ 12	0	0	△ 100.0	△ 44.1	100.0	#DIV/0!
実質収支	百万円	26	13	2	1	1	△ 50.0	△ 87.9	△ 28.6	0.0

※実質収支は、収益的収支差引と資本的収支差引に前年度からの繰越金等を加えたもの

## (12)その他事業

その他事業としては、こしの国広域事務組合がケーブルテレビ事業を実施している。

平成16年度から事業を開始しており、経常収益は1億9,299万円(対前年度比810万円、0.4%の増)、経常費用は1億9,212万円(対前年度比2,567万円、1.4%の増)で、差引87万円の黒字であり、経常収支比率は100.5%で前年度(101.4%)を0.9ポイント下回っている。

資本的収支は、資本的収入1億1,031万円、資本的支出1億756万円となっている。

### 経営状況

区 分	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	21-22増減	22-23増減	23-24増減	24-25増減
経常収益(A)	百万円	208	194	202	192	193	△ 6.7	4.0	△ 4.8	0.4
経常費用(B)	百万円	196	187	196	190	192	△ 4.6	4.7	△ 3.2	1.3
経常収支比率(A/B)	%	106.1	103.7	103.1	101.4	100.5	△ 2.4	△ 0.6	△ 1.7	△ 0.9
累積欠損金	百万円	△ 9	△ 16	△ 6	△ 9	△ 10	△ 77.8	62.5	△ 50.0	△ 11.1
資本的収入	百万円	24	33	50	54	110	37.5	51.8	8.4	102.6
資本的支出	百万円	92	97	113	121	108	5.4	16.4	7.3	△ 10.9

※ 平成21年度以降は累積欠損金が発生していない。(利益剰余金としてマイナス表記する)